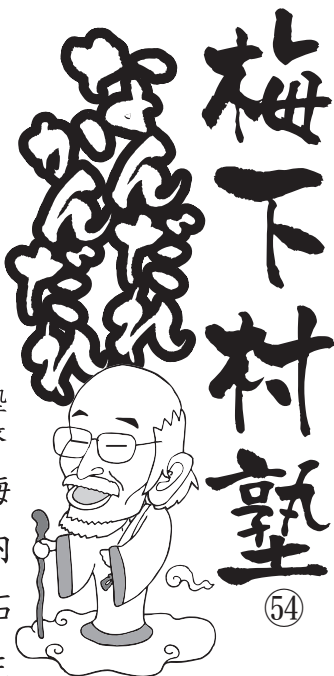


# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(歴史の軌)

『防人に立ちし朝明  
(あきけ)の金門出(かな  
と)に手放れ惜しみ泣  
きし児らはも(防人歌  
万葉 巻十四・356  
9)』

8月3日の第5面の  
『古典漫遊 189 万  
葉集(19) 東歌と防人  
歌 陸前高田市 後川隆  
一』に大和朝廷が東北地  
方に課した税の一つが  
「防人(さきもり)」であ  
る。「古典漫遊記」では  
「防人」は「崎守(さきも  
り)」で辺境を守る人。外  
国の唐や新羅(しらぎ)  
の侵略に備え北九州沿岸  
の防備にあたった。任期  
は3年。東国で徴発され  
た防人たちは、部領使  
(いことつかい)に引率  
され、難波(大阪)に集  
結。ここで朝廷の役人に  
引き渡され、官船に分乗  
して筑紫(九州)に向か  
った。防人歌はこれら防  
人やその家族の歌で、親

子・夫婦の別離の悲しみ  
が切々とうたわれる。と  
述べている。

蝦夷の末裔が住む東国  
の人々はこのような中央  
政府の重税に苦しんでき  
ている。このことは、現  
代の中央政府による東北  
地方支配に、受け継がれ  
てきている。3・11の東  
日本大震災の復興は、  
遅々として進んでいない  
ことが、マスコミを通し  
て明らかになっている。  
これは中央政府によるい  
ろいろな東北への搾取の  
「軛」が、厳然として押し  
つけられているからであ  
る。

8月7日の第1面の  
「世迷言」はオリンピッ  
クの柔道の本家である日  
本がロンドン大会で不満  
足な結果に終わったこと  
と、その原因は世界の柔  
道界が納得するようなル  
ールの設定に参加してい  
ないことであると述べて  
いる。

3・11の東日本大震災  
での被災地域の人々が社  
会秩序を維持した大きな  
忍耐力には、世界の人々  
が感動した。しかし、中  
央政府の「軛」を眺ねの  
けて、被災地東北地方  
が、どのように地域復興  
に立ち向かうのかを、世  
界が大きな関心を寄せて  
いる。まず、東北出身の  
政治家や官僚が、どれだ  
けこのことを肝に銘じて  
いるのか?それは期待で  
きないので、草の根の  
人々が自ら立ち上がらね  
ばならないと思う。

(家族のつながり)

『七月や園児の声の風に  
のる』

『梅雨晴れのはずむ一声  
娘の電話』

孫が通う保育園の子ど  
もたちの元気な声、娘か  
らの弾む電話の声、娘と  
孫に受け継がれていく、  
家族のつながりは大きな  
生きる喜びである。伊藤  
コサト とべら俳句会  
(7月)東海文芸 8月3  
日

8月8日の第6面に  
「稲澤選手(大船渡一中  
出身)が甲子園へ 仙台  
育英高校 きょう第3試  
合で佐賀北と」の記事が  
掲載されている。「稲澤  
選手の祖父の寺澤悦夫さ  
んは元大船渡高校監督、

父・茂樹さんは一関商工  
野球部という一家で育っ  
た稲澤選手。兄・宏樹さ  
んの影響で猪川スポ少に  
入り、大船渡一中に進ん  
だ。

60年以上も前に寺澤悦  
夫さんが現在の「大船渡一  
中の前身である猪川盛組  
合立盛中学校のピッチャ  
ー」として、盛小学校の裏  
庭で投球練習をしていた  
ことを思い出して、懐か  
しく思っている。野球は  
世代を越えて家族のスポ  
ーツとして受け継がれて  
きたことに感動してい  
る。

8月30日の世迷言は  
「中国のODA(政府開  
発援助)継続を主張した  
り、尖閣諸島購入の動き  
に対して『日中間に重大  
な危機をもたらす』など  
と発言して、その迎合ぶ  
りが際立っていた丹羽宇  
一郎中国大使の乗った公  
用車が中国人に襲われて  
国旗を奪われた事件で、  
もっとも悔しい思いをし  
ているのは当の丹羽氏だ  
ろうと述べている。日本  
の中央政府は国外の軛か  
ら解放されると同時に国  
内の地方への「軛」も解  
き放さねばならない。東  
北の忍従の人々よ共に力  
を合わせて「軛」の解放  
に立ちあがろうではない  
か。